

科目コード 202100

学科 学年	E3	科目 分類	プログラミングプロ Computer Programming	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 B - 1	担当	嶋 直樹 SHIMA Naoki
概要	<p>計算機環境の主流の1つであるunix 計算機システムを用いて、unix OS 環境での利用方法およびネットワーク環境の基礎概念を適宜習得する。また、プログラムの開発環境としてC言語を利用し、プログラミングの概要を学ぶ。</p>							
科目目標 (到達目標)	<p>1.C言語の基本機能を用いてプログラムを作成できる 2. プログラムの入力と実行を行える</p>							
教科書 器材等	<p>教科書：「よくわかるC言語」,長谷川 聡 ,近代科学社, ¥1800, 2001 .</p>							
評価の基準と 方法	<p>定期試験を70%、演習課題を30%として評価する。</p>							
関連科目	<p>情報処理基礎、ロジック回路、コンピュータ工学</p>							
<b>授業計画</b>								
第 1回	コンピュータとソフトウェア							
第 2回	ソフトウェア開発とプログラミング							
第 3回	データ型と変数							
第 4回	制御構造 分岐 1							
第 5回	制御構造 分岐 2							
第 6回	デバッガの使い方							
第 7回	前期中間試験							
第 8回	制御構造 反復 1							
第 9回	制御構造 反復 2							
第 10回	制御構造 反復 3							
第 11回	関数の定義・宣言 呼び出し							
第 12回	引数や返却地がある関数							
第 13回	配列の宣言と利用							
第 14回	配列と反復の組み合わせ							
第 15回	アルゴリズム							
第 16回	前期期末試験							
第 17回	文字の配列としての文字列							
第 18回	ライブラリ関数を用いた文字列処理							
第 19回	変数のアドレスとポインタ							
第 20回	アドレス渡しの引数							
第 21回	配列とポインタ							
第 22回	変数のスコープ							
第 23回	後期中間試験							
第 24回	構造体の定義と宣言							
第 25回	構造体の定義と宣言配列							
第 26回	データの構造 1							
第 27回	データの構造 2							
第 28回	ファイル操作							
第 29回	簡単なI/O操作							
第 30回	学年末試験							
オフィスア ワー	各曜日とも午後に対応できる場合が多い。ただし、火曜日と木曜日の午後は実験で塞がっていることが多い。							
備 考	<p>本授業に関する質問はメールでも受け付ける shima@numazu-ct.ac.jp 資料などの情報は次のURLのWebページで公開する。 <a href="http://africa.denki.numazu-ct.ac.jp/z/lab/Members/shima/lec2004/digital">http://africa.denki.numazu-ct.ac.jp/z/lab/Members/shima/lec2004/digital</a></p>							

